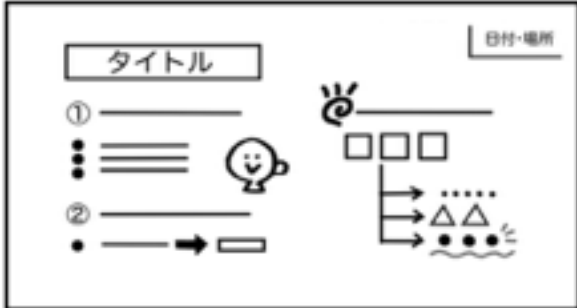


★ ファシリテーショングラフィックのレイアウト ★

① 箇条書き型/リスト型

適した場：会議、講演会、活動報告会



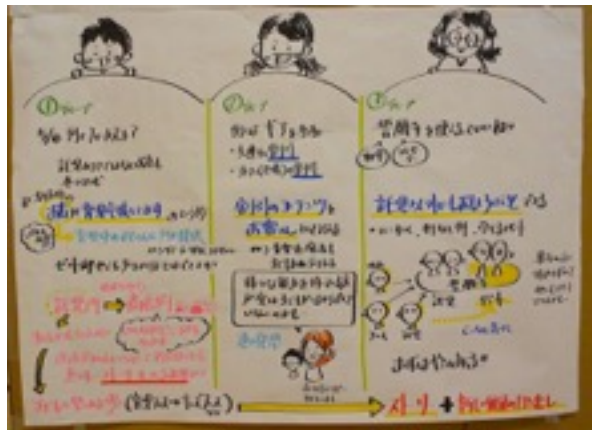
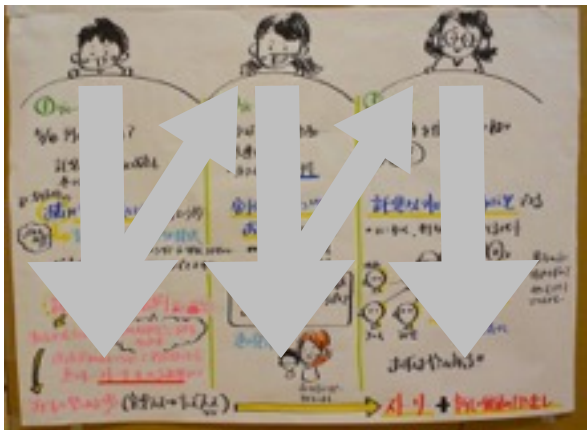
- ・コンテンツは上から下にかく
- ・書き出しは左上からが多い

【メリット】

- ・発言者の言葉をキーワードで残すことができる

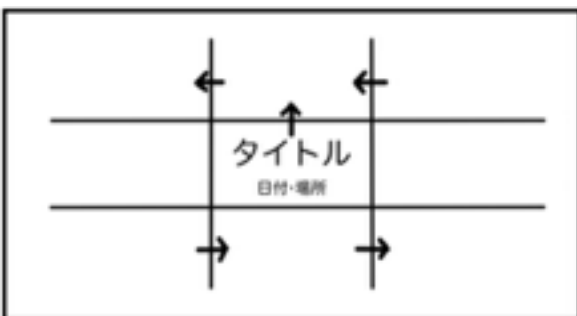
【デメリット】

- ・構造に気づきづらい
- ・記憶に残りづらい
- ・言葉を多く書く必要がある



② マンダラ型 I

適した場：質疑応答、講演会



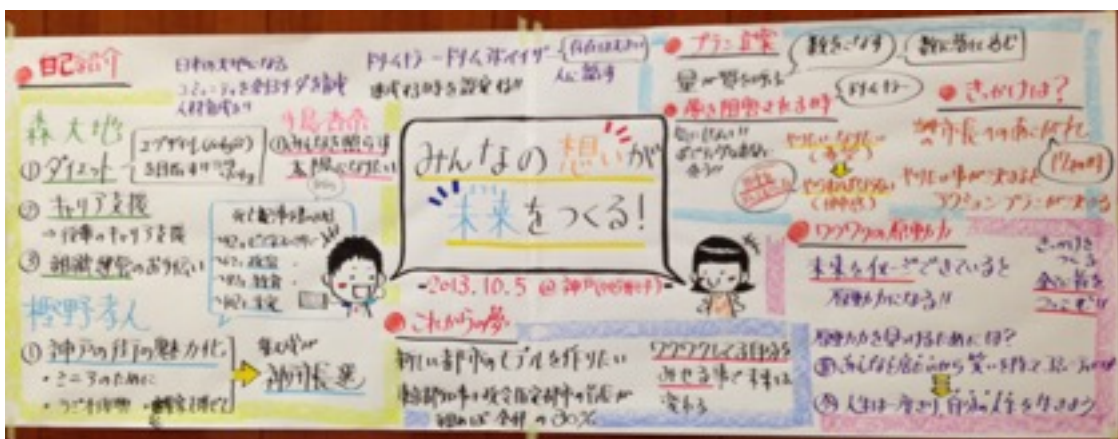
スペースの割り振りが決まっているため、そのスペースにコンテンツを当てはめていく

【メリット】

- ・細やかなレイアウトを余り考えなくて良い
- ・ストーリー性を表しやすい

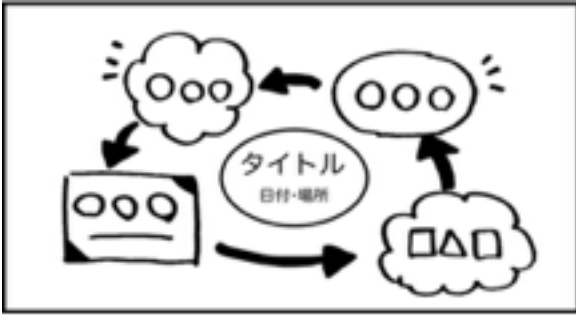
【デメリット】

- ・構造に気づきづらい
- ・スペースに余りがでる/はみ出す



③ マンダラ型 II

適した場：講演会、活動報告会



スペースの割り振りが決まっているため、そのスペースにコンテンツを当てはめていくグラフィッカーの時間配分の感覚が重要

【メリット】

- ・ストーリー性を表しやすい

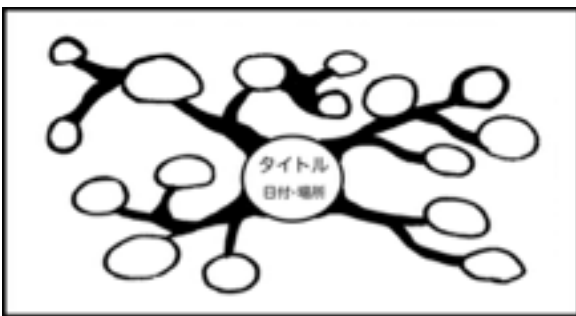
【デメリット】

- ・うまくいかないとスペースに余りがでるはみ出す



④ マインドマップ型

適した場：アイデアを出す、考えを整理・分類する



中心にテーマをかき、外に向かうにつれて具体化する

【メリット】

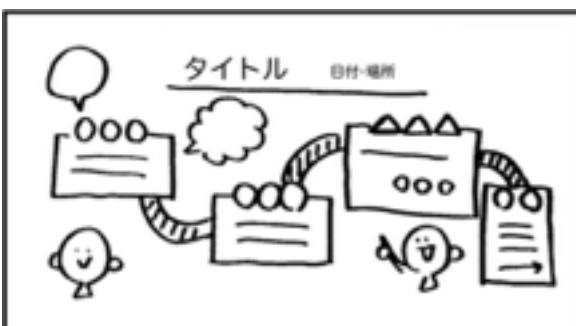
- ・コンテンツごとのつながりがわかる
- ・アイデアの創発につながる

【デメリット】

- ・スペースをどの程度使うか予測しづらい

⑤ スライド型 / 波形型

適した場：会議、講演会、活動報告会、質疑応答



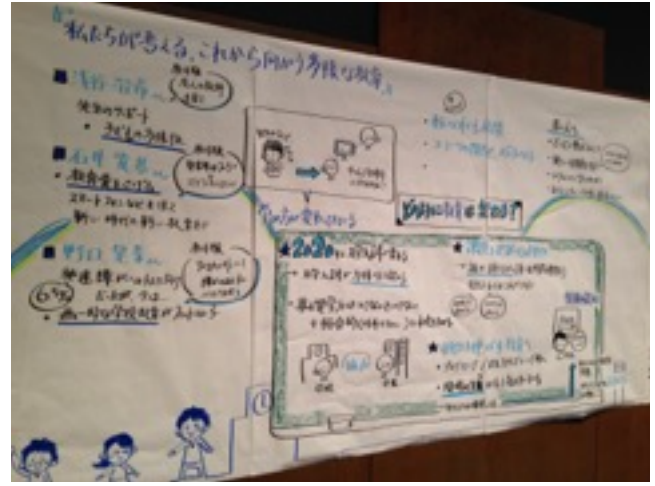
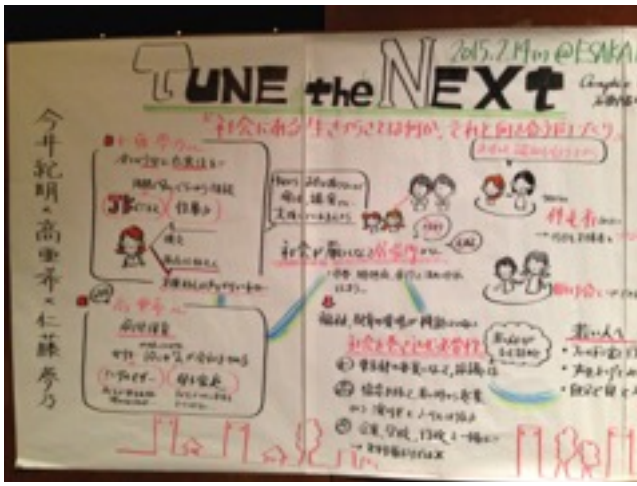
1つ1つのコンテンツを囲み、繋げていく

【メリット】

- ・ストーリー性を表しやすい
- ・流れがあるので見やすい

【デメリット】

- ・スペースに余白が生まれる



⑥ 絵画型

適した場：講演会、活動報告会



話全体を絵・ストーリーにすることで、誰もが参加したくなる雰囲気ができる

【メリット】

- ・ストーリー性を表しやすい
- ・流れがあるので見やすい

【デメリット】

- ・文脈を先読みして絵に表すので、その読みが異なると場とグラフィックが乖離する

